

令和6年度 第4回 浜松市立和地小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年2月19日（水） 13時30分から15時30分まで
- 2 開催場所 浜松市立和地小学校 相談室
- 3 出席委員 宇津山 茂、松木 和見、田中 恵子、牧田眞喜夫、松尾 隆廣、
山本 真希、中村 日出雄、岡井 保、高橋 伸幸、
- 4 欠席委員 西浦麻里子
- 5 オブザーバー 安澤 伊織（和地協働センター所長）
中村 規子（和地地区民生委員児童委員協議会会長）
牧田 正稔（湖東町副自治会長）
- 6 学 校 青島秀典（校長）、石塚稚人（教頭）、野中信彰（主幹教諭）
- 7 教育委員会 なし
- 8 傍 聴 者 なし
- 9 会議録作成者 野中信彰

10 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、牧田委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

11 前回の会議録の確認

司会より、前回の会議録の報告があり、全員で確認をした。

12 協議事項

- （1）学校評価の結果について
- （2）来年度の学校運営の基本方針
- （3）学校運営協議会の自己評価
- （4）夢育やらまいか事業報告
- （5）令和7年度の和地っ子応援団、年度当初の支援活動について

13 会議記録

司会の石塚教頭から、委員総数10人のうち9人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）学校評価の結果について

議長の指示により、主幹教諭から資料に基づき学校評価について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・ お話ポストには、どのくらい入っているのか（松尾委員）

→学校生活アンケートを学期ごとに年3回行ったり、担任や他の教員に直接相談したりすることもある。私のところにも相談があったが、いろいろな相談方法の一つであるので、年間では一桁である。（教頭）

→いじめの定義 被害者が心身の苦痛を訴えればいじめになる。加害者が意識していないこともある。この定義では「あなた背が高いね」でも相手が嫌だと感じればいじめになってしまう。誰もが加害者にも被害者にもなりうる。処罰ではなく今後に向けての指導が大切なので、そのように取り組んでいる。（校長）

- ・親が悪い言葉遣いをしていると子供にも移る。保護者にも考えてもらう機会が大切である。(松木委員)
- ・いじめ認知件数に学年にばらつきがある。4年生や6年生に多いのは、学年の雰囲気の問題はないか。(田中委員)
 - いじめ認知を積極的に行うようにしているので認知件数は増えている。確かに学年ごとに雰囲気の違いはあるが、大きな差があるわけではない。(野中)
 - いじめを認知した場合は、担任が加害被害のどちらにも連絡を入れている。これまで以上に頻繁に入れ、学校と家庭が協力していることで、大きな問題にならないようにしている。(石塚)
- ・認知件数の合計35件は他校に比べて多いのか、少ないのか。(牧田委員)
 - 少ないです。(石塚)
- ・他校よりも少ないということは学校が落ち着いているということだと思います。(牧田委員)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(2) 来年度の学校運営の基本方針について

議長の指示により、校長から、資料に基づき学校運営基本方針について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・あいさつができない子が年々増えているとあるが、素晴らしい子もいる。積極的に紹介してほしい。5・6年生にあいさつの意味を教えてほしい。いつでもお手伝いをする。(宇津山委員)
 - ・学校評価の意見を見ると、先生が親身になって相談にのってくれるという意見がでるのは、学校経営方針のもと取り組んでいるからだと分かった。(松木委員)
 - ・ウェルビーイングの向上とは、具体的に何をするか。難しいのでは(岡井委員)
 - 資料P13①教師が生き生きしているためには、働き甲斐のある職場であることが大切になる。教師の自由裁量が増えることで、子供も生き生きすると考えている。(青島)
- 協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(3) 学校運営協議会の自己評価

議長の指示により、教頭がまとめた自己評価表について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・授業ボランティアをもっと活用をしたい。CSの方と先生方が話をする時間を設けてほしい。(宇津山委員)
- 学校運営協議会に教職員(学年主任)にも参加してもらう。互いの情報共有や取り組みの周知を図っていく。(教頭)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(4) 夢育やらまいか事業報告

議長の指示により、教頭から資料にもとづき夢育やらまいか事業について報告があった。全員異議なくこれを承認した。

(5) 令和7年度の和地っ子応援団、年度当初の支援活動について

議長の指示により、教頭から来年度の年度当初の支援活動について年間計画表をもとに説明があった。

- ・来年度1年生の下校見守りは、今年度よりさらに1週間延長し、4/9（水）から4/25（金）の3週間としたい。（宇津山）
- ・コースごとに子供の下校ルートが違う。1年生（全員）の地図がほしい。（松木）
- ・1年生の給食補助は、4/16（水）から5/9（金）にし、終わりは、1年担任と相談したい。（山本）

(6) その他

<報告事項>

松尾委員より、12月11日に行われた学校支援コーディネーター研修会の報告があった。

<連絡事項>

- ・教頭より学校運営協議会委員研修会（3月5日）について、オンラインで視聴可能なことの紹介があった。
- ・教頭より、通学路整備要望調査について、委員から整備希望の場所があったら情報提供をお願いしたいとの連絡があった。